

Iwakura
International
Exchange
Society



岩倉市国際交流協会

第44号

2004年8月1日

「アジア麺対決 フィリピン VS 韓国」 ～ 国際交流連続セミナー at 南中 ～



国際交流連続セミナー、平成16年度の第1回目は、5月29日(土)の午前、南部中学校の調理室にて「アジア麺対決 フィリピン VS 韓国」と題して開催しました。

会員や市内小・中学校の皆さん40名ほどの参加がありました。講師に、市内在住のキム・ミギョン(金 美京)さんと Lotis Aoki さんをお迎えして、韓国の冷麺(ネンミョン)とフィリピンの日常的な麺料理 Sotanghon(ソータンホン)を教えて頂き、みんなで美味しくいただきました。レシピと写真は協会のホームページにも掲載してあります。簡単でおいしい料理ですので、ぜひ、一度作ってみてはいかがでしょうか。

また、食後には今日本でも人気の韓国ドラマ「冬のソナタ」の中で、日本では「？」と思う場面の質問などもありました。キムさんに説明していただき韓国の文化についても垣間見ることができ、料理を通して楽しい交流ができました。

その質問です。

・韓国にも学生服やセーラー服があるのか？(冬ソナの高校生時代の制服を見て)

「学校によってまちまちですが、多くの学校が制服です。セーラー服などはほとんど見かけませんが、多くはブレザーの制服です。」

・高校の先生がムチのような棒を持っているが、当たり前のことか？

「結構持っている先生がいます。」

・婚約式というものがあるらしいが、たいていの人がするのか？婚約式では何をするのか？日本の結婚に近いのか？

「そうです。家族や親戚が集まります。しかし、私の時は、しませんでした。」

・食事の時にスプーンがよく使われているが、ハシよりも多く使われるのか？

「ほとんどがスプーンです。」

協会では今年度、6回の予定で連続セミナーを開催します。COM、リアルタイム情報紙、ホームページなどでご案内しますので、ぜひご参加ください。(連続セミナーの予定は4面に掲載) <http://www.iies.info/>

いよいよ日本語教室「日本語ひろば岩倉」が始まりました。



岩倉市国際交流協会では、市役所の市民相談室にて毎月2回（第1、第3日曜日）、外国人相談窓口「こんにちはコーナー」を開設していますが、相談内容で一番多かったのが「日本語を習いたい」というものでした。

協会では6月より月2回、岩倉市公民館の一室をお借りして、定期的な日本語教室「日本語ひろば岩倉」を開設することになりました。

現在14名ほどのボランティアのスタッフにより運営しています。初日の6月2日こそ2名の外国人の参加でしたが、6月16日は14名、7月7日は13名

の外国人の方が参加されスタッフ一同、より充実した教室となるように努力しています。

また市内の小中学校への日本語ボランティアの派遣も行っています。現在、岩倉南小学校、南部中学校へ昼間活動できるスタッフが定期的に出向いています。まだ日本語ができなくて、学校の授業を理解するのが難しいと思われる外国人の生徒に対して、週に4時間ほど日本語を教えています。

活動はなんとか軌道に乗り始めましたが、ボランティアスタッフはまだ不足しています。私たちの活動に興味を持たれる方がいらっしゃいましたら、ぜひ下記まで連絡してください。

○開催日時 毎月 第1、第3水曜日
午後7時30分～9時

○開催場所 岩倉市公民館
(2F 展示資料室)

○連絡先・問い合わせ先

桜井 090-8320-9591

井上 090-1624-5826



ボランティアスタッフの感想（「日本語ひろば岩倉」の今後について）

この「日本語ひろば岩倉」の立ち上げに関しては、何もわからないところから始まり、不完全ながらもなんとか6月から日本語教室を開設することができました。不安と期待が入り交じる中、回を重ねるごとに学習者も増え、徐々に形になってきた気がします。学習者とのふれあいを通じて、日本語ボランティアとして学ぶべきことがたくさんあることに気づかされました。

外国語としての日本語を教える難しさ、学習意欲を持ち続けてもらうことの難しさなど毎回いろんな問題に直面しています。

マンツーマン形式で始まったこの教室も、学習者の増加で一部少人数のグループ形式となりつつあります。現在は第1・3水曜日の夜の開催ですが、今後はカリキュラムを組み、昼や休日の開催なども視野に入れていきたいと考えています。

学習者の日本語のさらなる上達を目指し、学習者・ボランティアが共に有意義な時間が過ごせるようなものをつくっていききたいと思います。

尾関

世界のお惣菜 第1回 <モンゴル料理>

6月27日、モンゴルからの留学生アンドリュウさんと石仏駅の近くにお住まいのモンゴル人ビリゲさん、ガナさんご夫妻にモンゴル料理を教えていただきました。

① HUSHUUR (ホーショル：揚げ餃子のようなもの)

小麦粉を練って作った皮に、挽肉(今回はマトンをみじん切りにしました)と野菜を大判の大きさに包み、油で揚げる。

② TSUUVAN (ツォイワン：蒸し焼きうどん)

- ・小麦粉をこね、薄くのぼし、オリーブオイルをつけて細めに切り、生麺を作る。
- ・野菜を炒め、肉をのせ、水とブイヨンを入れ、生麺をのせて、混ぜないで10～15分蒸し焼きにする。

③ BAYARIIN (バイアリン：モンゴル風ポテトサラダ)

ゆでたさいころ型の野菜、肉とたまご、グリーンピースをマヨネーズで和える。



お茶はスーティー・ツァイ(乳茶)といって、お茶に牛乳と塩を入れたもの。

今回はモンゴルのバターも加え、香り豊かなおいしいミルクティーに!!

盛りだくさんのメニューで、作り終えた時は、お腹もすいて、少々疲れ気味でした。が、おいしい品々で笑顔が戻り、モンゴルミュージックとアンドリュウさんの楽しいおしゃべりでとても和やかになりました。蒸し暑い一日でしたが、皆、汗だくでがんばりました。

マトンも美味で、お肉料理のわりには油濃くなくて、子どもたちにも大好評でした。

講師の先生、参加して下さった方々、ありがとうございました。

バヤルダ!!

こいのぼりづくりとホームステイ

今年のこいのぼりづくりは5月22日(土)～23日(日)に行われました。例年と同じく第一児童館とのんぼりやさんを舞台にして、色とりどりのこいのぼりが完成しました。

同時に募集したホームステイへの応募者は、名古屋市名東区のC B I C(中部国際センター)から3名(インドネシア人男性、スリランカ人男性、セネガル人男性各1名)、西春町の名古屋芸大から3名(イギリス人男性1名、女性2名)の計6名でした。

こいのぼりを作るのは、これらのホームステイのゲスト6名、そのホストファミリーのうち制作を希望された5家族、そして地元在住の外国の方3名(ウガンダ人男性1名、アメリカ人男性2名)の合計14名・家族の方々です。

初日は朝10時に第一児童館へ集合。講師の松浦さんからビデオで説明を受け、先ず下絵描きに挑戦です。昼食をはさみ、午後からは子供達と一緒にゲームをし、児童館で手作りされたおやつを皆で楽しみます。

2日目はのんぼりやさんの作業場が舞台となります。朝10時から12時までのりおきをし、作業場横の五条河畔で昼食を味わいます。それから午後1時から3時半まで色付け。皆が真剣になる時間です。午後は雨模様の天気となったので、大きなドライヤーのような乾燥機を持ち出して熱風を吹きつけ、乾かします。

完成したこいのぼりを手に取り、たくさんのカメラで記念写真が一杯撮られました。こいのぼりや写真はそれぞれの思い出と共に故国へ持ち帰られることでしょう。たくさんの写真を撮ってくださった安井さんにはこの場を借りて御礼申し上げます。



キューバへの旅！

愛知万博のフレンドシップ事業で、岩倉のパートナーとなったキューバ共和国。その名は知られているのに、実態を知る人は少ない国の一つ、そんなキューバに行ってきました。

カナダ経由で2日かかりで到着したハバナ空港から市街地へ向かう眺めは、「まさに南国！」の一言。緑の木々に混じって、淡いピンクや鮮やかなオレンジ色の花をつけた樹々が青い空に映えています。



予約してあったホテルは旧市街に近いペゴダ地域の中級ホテル。薄暗く外観も内装も決して綺麗とはいえないホテルですが、結構気に入りました。窓から下を見ると、早朝、道路のゴミを拾う人が見えたり（本当に道路が清潔なのには驚きました！）、思い思いの格好をしたキューバの人達の生活する姿が見られたからです。ホテルにはキューバ人は入れないとのこと、ホテルの客はカナダ人を中心に、メキシコ人や欧米人ばかりということになります。



私の希望は現地の学校訪問とキューバ人の家庭を訪問することでした。訪れた小学校では、可愛い制服を着た小学生たちが迎えてくれました。1学級20人前後という少人数制で、算数の授業をする3年生のクラスでは、日本への質問も飛び出しました。

ガイドを務めてくれたハバナ大学の助教授のスサーナさんのお宅に招かれ、手作りのキューバ料理をご馳走になりました。食料や生活用品の大半が配給制という現状を、いろいろと話してくださいました。キューバの人々の生の声が聞こえた一瞬でした。

本当に明るく陽気なキューバの人達にもっと長く触れていたいと思いながら、帰国しました。

国際交流連続セミナー予定

日時	会場	内容
7.10	岩倉中学校	馬頭琴の演奏とモンゴルについてのワークショップ 「ビー モンゴル フン」邦題（私はモンゴル人）
9.11	くすのきの家	岩倉市中学生海外派遣報告会（オーストラリア交流報告）
11.20	南部中学校	キューバを楽しもう！ キューバ音楽や料理
1.22	岩倉中学校	外国人を囲んだもちつきや凧揚げなど正月にちなんだ交流会
3.12	くすのきの家	外国人とのスポーツ交流とその後ティーパーティーによる交流会

会員継続手続き及び新規会員募集のご案内

事業は会員の会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。会員継続手続きをされていない方は、下記へお振り込みをお願いします。また新規会員も受け付けています。

新規会員の申し込みについては下記申込先、問い合わせ先にご連絡をお願いします。

申込先 岩倉市国際交流協会事務局

〒482-0021 岩倉市新柳町3-2 1-2（内藤方）TEL/FAX (0587)66-7347

会費振込先 いちい信用金庫 本店 普通預金1016300

口座名 岩倉市国際交流協会 会計 大橋 まり子

会費 家族会員 3口 (3,000円) 以上

ジュニア会員 1口 (1,000円) 以上

団体会員 10口 (10,000円) 以上 (1口1,000円です)

問い合わせ先 内藤(0587)66-7347 中山(0587)66-8573 三浦(0586)87-1077

大橋(0587)37-7117 井上(0587)37-4032

会報 COM第44号(2004年8月1日) 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2(内藤方)

発行 岩倉市国際交流協会

TEL・FAX 0587-66-7347

印刷 大橋印刷

http://www.iies.info/